

NEW KOMIITO

公明党埼玉県議会議員

西山じゅんじ



連絡先

fax/04-2990-2172

e-mail/komei@nishiyama-junji.com

URL/http://www.nishiyama-junji.com

# 2019 ラグビーワールドカップ会場 熊谷ラグビー場の改修費で一幕

## 幻の「両側屋根」案!?

### 20億円の増額に疑問噴出

ラグビーワールドカップが2019年に日本で開催されますが、その会場となる熊谷ラグビー場の改修工事を約73・2億円（税込約79億円）で清水建設が請け負う契約案件が12月定例県議会で可決されました。

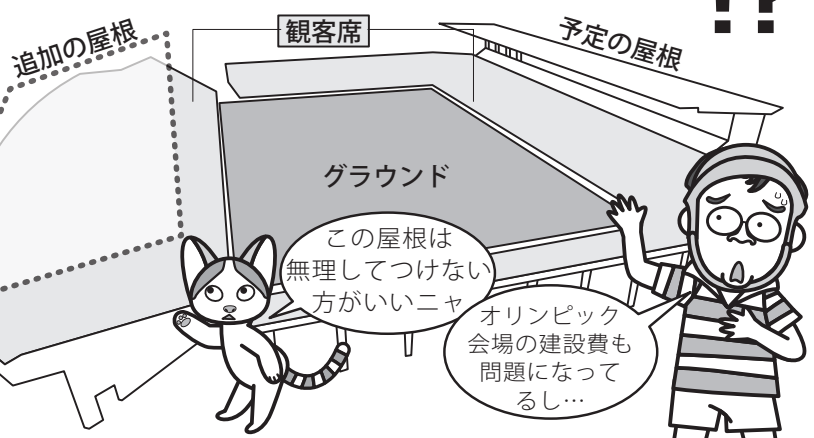
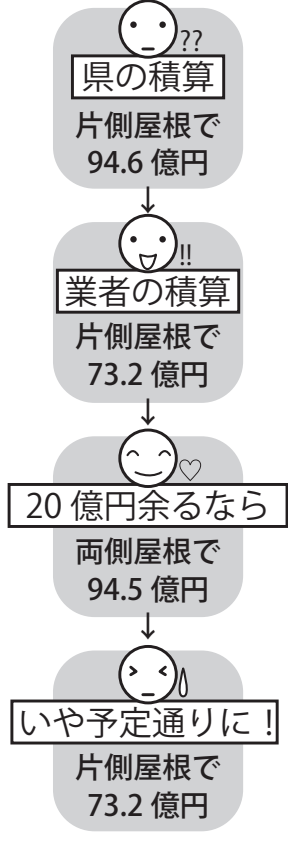
このラグビー場改修工事について県は、12月議会直前まで94・5億円に増額して施設を充実する案の提出を検討していましたが、最終的に当初の73・2億円案に戻るとい一幕がありました。

当初、県は24,000人規模への改修について、屋根はスタンドの「片側」だけという仕様で工事費を94・6億円と積算しました。そして「ECI方式」という

設計段階から工事施工者を関与させる新しい方式で業者を選定。昨年8月に73・2億円を提示した清水建設が施工予定者に決定しました。

普通ならこれですんなり決まりですが、ECI方式では予算内で設計内容を施工業者と再検討することが可能です。そこで県は積算価格との差額約20億円を使って、屋根を「両側」に設置して大型映像装置をもう一個増やす新たな案を清水建設と検討。94・6億円の予算内で可能ということで、12月議会にはこの案を議会に提出するつもりでした。

ところが議会前にこの新案を一部議員に事前説明したところ、「当初の仕様では屋根は片側のみ。予算に余裕があるからといって『両



側屋根』で予算全額を使うのはいいかか」と疑問の声が噴出。やむなく県はもとの片側案（73・2億円）に戻った次第です。

ラグビー関係者にとっては両側屋根が「幻」になったことは残念でしょうが、2020年東京オリンピック会場の建設費が問題視される中、20億円の増額に反応した議会側の感覚は適切だったと私は考えます。